

令和7年 10月

放送大学鳥取学習センター機関誌 198号

文部科学省認可通信教育

ぱりすむ

鳥取(鳥取砂丘)



2025年1学期面接授業「基礎から学ぶ山陰海岸ジオパーク」より

目次

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・	2～3	学友会・同窓会からのお知らせ・・・・	12
式典開催報告・・・・・・・・・・・・	4	学生掲示板 学生サークル・・・・・・・・	13
謝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5	職員異動のお知らせ・・・・・・・・・・	13
新入生の皆様へ・・・・・・・・・・	6	学生研修旅行報告・・・・・・・・・・	14～15
事務室からのお知らせ・・・・・・・・	7～8	夏の親睦行事報告・・・・・・・・・・	16～17
通信指導・単位認定試験について・・	9～10	公開講演会報告・・・・・・・・・・	18
面接授業について・・・・・・・・・・	11	教務スケジュール・・・・・・・・・・	19
図書・視聴学習室からのお知らせ・・	11～12	今後のスケジュール・・・・・・・・・・	20



学びと他者の存在

放送大学鳥取学習センター

客員教員 田中 詔子

コロナ禍では、今まで身近でなかったものが日常になり、生活の景色が一変しました。現在は姿を消したのも多々ありますが、今でも残り続け、生活の一部となったものもあります。オンラインもそのひとつです。コロナ禍では、重要なコミュニケーションツールであり、ビジネスツール、学習ツールとなりました。病院や入所施設では、オンラインの面会の設備が整えられました。学校では、ひとりに端末1台のGIGAスクール構想に沿って、急速に設備が進みました。ビジネスの場面でも、オンラインを用いた会議、打ち合わせだけでなく、リモートでの就業なども頻繁に行われるようになりました。コロナ禍の終息とともに対面の良さも重視されるようになりましたが、オンラインの便利さを実感した人も多く、コロナ禍以後も活用されています。ここで、オンラインを用いた学びについて、私自身の体験を振り返って、考えてみたいと思います。

私が専門としている臨床心理士の資格は、5年ごとの更新制になっていて、様々な研修を受けることが義務づけられています。コロナ禍以前は、東京や大阪などの大都市で行われる研修に申込み（人気の研修は抽選！）、週末を使って出かけ、必要ならば宿泊をして・・・という時間もお金もエネルギーもかかるものでした。子育て世代（特に女性）には、負担は大

きいものでした。それが、オンラインになり、自宅から参加できるようになると、宿泊交通費は不要になり、5分前にパソコンの前に座り、終われば即座に終了。非常に便利に、気楽に参加できるようになりました。専用のヘッドセットを購入し、時にはスマートフォンを利用してラジオ感覚で聞き流しながら・・・など、オンラインの研修を楽しんでいました。しかし、研修を受けながらも、雨が降り出すと洗濯物が気になり、夕食の準備のことが頭をよぎります。宅配送が来ることもあります。遠方にわざわざ出かけていた研修に比べて、容易に意識が日常に戻ってしまうのです。出かける研修は「非日常」で、オンラインの研修は、日常生活と並行した空間で行われていることに気がつきました。また、研修が終了したとき、ワンクリックでパソコンの画面から参加者の顔が一斉に消えてしまう、何とも言えないさびしい気持ちもありました。鳥取から東京、大阪への研修会参加は、その行き帰りにも意味があったのです。交通手段が限られるため、たいてい同業の仲間に出会います。行きには、近況を報告し、研修参加の動機を話すことで、モチベーションが上がります。帰りには、研修会の感想を語り合い、翌日からの仕事につなげることができます。研修会中の休憩時間の何気ない雑談から、新たな疑問が生まれることもあり、学び



につながる時間でした。負担に感じていた東京や大阪での研修のための時間は、すべて学びにプラスとなっていたのです。とはいえ、負担が少なく受講できるオンラインの研修も大変ありがたいものであり、両方をうまく活用して、学びを続けたいと思っています。

受験生の親だった頃、「受験は団体戦」という言葉を耳にしました。私自身が受験生だった遙か昔には聞いたことのない言葉で、その意味がよくわかりませんでした。しかし、子どもが受験期を終えたときに、「心が折れそうになったときに、頑張っているクラスメイトの姿を見て、もう一度立ち上がった」と話したのを聞き、仲間が存在が励みになっていたことを知りました。学ぶことの基本は、個人の努力かもしれませんが、学び続けるためには、他者の存在が大きな力になるのです。

放送大学で学ぶことは、ある意味では孤独で、モチベーションを保ち続けることが難しいかもしれません。自宅で、自分の好きな時間に受講することは、タイムパフォーマンスがよい学びの形ですが、日常生活に流されやすくなってしまうことでしょう。でも、放送大学には、姿は見えないけれど、あなたと同じように

コツコツと学びを続けている人が、大勢います。対面授業の受講、学習センターのイベント（研修旅行やセミナーなど）参加、サークル活動などで、同じように学んでいる誰かの姿を目にすることができることでしょう。言葉を交わさなくても、自分と同じように学んでいる仲間の姿は、学び続けるモチベーションにつながると思います。くじけそうになったときには、そんな仲間の姿を思い浮かべて、ゆっくりでいいので、学び続けてほしいと思います。



プロフィール



医療法人メンタルリカバリーセンター幡病院 公認心理師・臨床心理士。岡山県出身。鳥取大学大学院修了（教育学）。専門は、発達心理学、臨床心理学。

式典開催報告

ご卒業おめでとうございます！

10月5日(日)、鳥取学習センターにて「学位記授与式」が開催されました。卒業生8名のうち1名が出席され、渡邊鳥取学習センター所長より学位記と花束が手渡されました。

次いで、「鳥取同窓会」会長 三ツ國全代氏より祝辞が贈られました。

2025 年度1 学期 卒業生		(名)
教養学部	心理と教育コース	2
	情報コース	1
	生活と福祉コース	2
	社会と産業コース	1
	人間と文化コース	1
	自然と環境コース	1
計		8



謝 辞 (山田 順子さん)



2025 年度第1 学期卒業生



式典に参加された皆さんと共に

ようこそ放送大学へ！

学位記授与式同日の午後、鳥取学習センターにて「入学者の集い」が開催されました。新入学生70名のうち10名が出席されました。

式典では、渡邊所長からの歓迎の挨拶、次いで、鳥取学習センター全在生から成る組織「学友会」会長 清水道代氏より祝辞が贈られました。



2025 年度第2 学期入学生の皆さん

～謝辞～



心地よい秋風が吹き
抜け、木々が色づき始め
るこのよき季節に、私た
ち卒業生のためにこの
ように盛大な式典を挙
行していただき、心より
御礼申し上げます。また、

ご多用の中ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、並びに渡邊所長をはじめ教職員の皆様に、卒業生一同を代表し、厚く御礼申し上げます。

私にとって今回の卒業は、放送大学では二度目となります。一度目は心理と教育コースで学びました。もともと教育や心理学に興味があり、仕事や子育ての中で興味を持ったことや疑問に思ったことを深く学び、卒業論文をまとめることで大きな節目を迎えました。その学びの中で教育そのものや人の学び方に強い関心を抱き、さらに情報技術を活用した教育、遠隔地での学びなどにも目を向けるようになりました。こうした思いを胸に、再び放送大学の門を叩き、このたびの「情報コース」での卒業を迎えることができました。

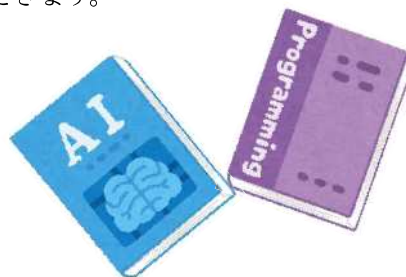
数ある授業の中で特に印象深かったのは、オンライン授業の『プログラミング入門 Python』です。実際に手を動かしながらプログラムを作成するという内容は容易ではありませんでしたが、体験を通して学ぶことの楽しさを強く実感しました。自分のペースで進められるオンライン形式であったことも大きな支えとなり、有意義な学習体験を重ねることができました。学習に関わる仕事をしている私にとって、この経験は単なる知識の習得にとどまらず、現在の学校での情報教育や今後の教育のあり方を考えるうえで大変貴重なものとなりました。

私は、以前からインターネットを介した学習や交流に関心を持っており、やがて教育はオンラインで広く行われるようになることを確信していました。その思いを実践するように、今回の学びではパソコンやIT関連の科目とともに情報教育の科目を選択し、AIについても大学外で学ぶ機会を得ました。大学の枠を越えて探究を広げられたのは、自分のペースでゆっくりと履修できる放送大学の柔軟なカリキュラムのおかげであり、この環境のありがたさを改めて感じています。

こうして余裕をもったのんびりと学べたことは、前回の卒業時とはまた異なる豊かさをもたらしてくれました。一方で、学んでいくほどに「まだ深め足りない」という思いも抱いています。今回の卒業は一区切りではありますが、私にとってはむしろ新たな学びへの出発点であり、これからも学び続ける姿勢を大切にしていきたいと思います。

本日この日を迎えられたのは、熱心にご指導くださった先生方、学習環境を支えてくださった職員の皆様、そして日々応援してくれた家族のおかげであると、心より感謝しております。

最後になりますが、放送大学のさらなるご発展と、ご臨席の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、私の謝辞とさせていただきます。



令和7年10月5日
卒業生代表 山田 順子

新入生の皆様へ



放送大学鳥取学習センター
所長 渡邊 文雄

秋の風が心地よく、木々が色づき始める季節となりました。放送大学鳥取学習センター所長の渡邊文雄です。

このたびはご入学おめでとうございます。新しい環境で学びを始められる期待とともに、不安や戸惑いも感じておられるかもしれません。しかし、今日こうして「学びの扉」を開かれたこと自体が、皆様の人生において大きな一歩です。

放送大学には、今回初めて大学で学びを始める方だけでなく、2回目、3回目、4回目と、異なるコースに再び挑戦される方も多くおられます。これまでの経験や学びを土台に、新たな知の世界を切り拓く素晴らしい挑戦です。すでに学びの喜びと苦勞を知る皆様だからこそ、より深く、より広い視点で知識を結びつけることができるでしょう。どうぞ、その積み重ねを存分に活かし、さらに充実した学びを重ねてください。

私たちを取り巻く世界は、決して穏やかとはいえません。長引くロシア・ウクライナ戦争、国際経済の混乱や米国の追加関税政策による影響、日本国内では物価高騰が続き、日常生活の足元にも不安が忍び寄っています。このような変化と不確実性に満ちた時代だからこそ、学びは私たちの心に揺るがぬ軸を与えてくれます。知識は未来を見通す地図となり、考える力は荒波の中を進む羅針盤となります。学び続けることで、私たちは外の世界に左右されない判断力と、より豊かな人生を築くための土台を育むことができます。

放送大学には、年齢や職業、経験の異なる仲間が集い、互いの視点や知恵を分かち合っています。教科書や講義だけでなく、仲間との対話や交流の中で得られる気づきこそ、学びの醍醐味の一つです。鳥取学習センターでは、皆様が安心して学び、そして挑戦を続けられるよう、全力で支えてまいります。

これから始まる日々の中で、戸惑いや困難に出会うこともあるかもしれません。しかし、その一つひとつを乗り越えるたびに、皆様の中に確かな自信と力が育っていくはずです。どうぞ、この秋からの学びを、自分自身の未来を切り拓く旅として歩んでください。

皆様の新しい挑戦が、豊かで実りあるものとなることを心から願っています。

事務室からの知らせ

学習センターの各種手続きにおけるキャッシュレス決済の導入について

《重要》

2025 年 10 月から証明書発行手数料等の支払いに、キャッシュレス決済が導入されました。(事情によりキャッシュレス決済のご利用が困難な方はご相談ください。)

○対象となるお支払い

- ・証明書の発行手数料
- ・学生証の再発行手数料
- ・文献複写料※窓口でのお支払いのみ
- ・面接授業・ライブ Web 授業の追加登録(授業料・事務手数料)※1
- ・その他料金預かり(学研災保険料など)

○支払い方法 ※2

- ・クレジットカード
- ・QR コード決済
- ・コンビニ決済(ご自宅等からのみ)
- ・電子マネー(学習センター窓口のみ)

※1 2026 年 3 月までは事務手数料は不要ですが、2026 年 4 月からは、手数料 200 円(1 科目)がかかります。

※2 利用できる決済サービスは、ご自宅等と窓口で一部異なりますのでご注意ください。

詳細は、放送大学ウェブサイト「キャッシュレス決済の対象拡大について」をご覧ください。

学生証について

参照『学生生活の栞』学部 P23～25、大学院 P34～37)

施設のご利用等の際は、学生証が必要です。

学生証は、学習センターで発行しております。新規入学・継続入学の方、学生証更新の方は、学生証の交付を受けて下さい。

有効期限



受取方法

新規入学・継続入学の方

入学許可書をお持ちのうえ、

鳥取学習センターへお越し下さい。

在学生で学生証の有効期限が
2025 年 9 月末で切れた方

有効期限が切れた学生証をお持ちのうえ、

鳥取学習センターへお持ち下さい。

※学習センターへの来所が難しい場合は、郵送で受け取ることもできますので、お申し出下さい。

放送大学ウェブサイトについて

放送大学ウェブサイト、鳥取学習センターウェブサイト、システム WAKABA>キャンパスライフ>「学内連絡」では随時学生の皆さまへのお知らせを掲載していますので、こまめにご確認ください。

放送大学ウェブサイト : <https://www.ouj.ac.jp/>

鳥取学習センターウェブサイト : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tottori/>

システム WAKABA ログインページ : <https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

教務情報システム(システム WAKABA)について

参照『学生生活の栞』学部 P27～29、P113～117、大学院 P40～42、P113～117

放送大学では皆様の学修をサポートするため、教務情報システム(システム WAKABA)など、インターネットを利用した各種情報システムを提供しています。詳細なマニュアルは、システム WAKABA の『キャンパスライフ』学内関連>附属施設・情報システム>「システム

WAKABA」学生用マニュアルに掲載しておりますので、適宜ご参照ください。**ログインID・初期パスワード**は入学許可証に記載されています。

- ① 放送大学ウェブサイトシステム WAKABA にアクセス
または在学生（WAKABA）からシステム WAKABA（教務情報システム）をクリック。
- ② 初回ログインの前に、必ずパスワードを変更してください。
『パスワード変更ページ』 <https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>
- ③ ログインID とパスワードを入力し、ログインをクリック。

【問い合わせ先】

- 鳥取学習センター（電話：0857-37-2351）
- 総合受付（電話：043-276-5111）

ログインできない・システムの利用を再開したい・パスワードを忘れてしまった場合は、いずれかまでご連絡ください。



キャンパスメールについて

「キャンパスメール」は、Web ブラウザを利用した電子メールシステムで、学生全員にメールアドレスが割り振られています。大学からは、修学関連の連絡を随時しています。また、学生からは、大学への連絡手段としても利用できます。

メールアドレス：学生番号ハイフン(－)を除く半角 10 桁@campus.ouj.ac.jp

※キャンパスメールに届いたメールを、携帯メールアドレスなどへ自動転送する設定方法については、システム WAKABA『キャンパスライフ』附属施設・情報システム>キャンパスメールの自動転送設定方法にてご案内しています。

「学生生活の栞」と「利用の手引」について

「学生生活の栞」は大学本部より印刷教材等と一緒に郵送されます。この栞には放送大学での学修で重要となる、各授業の受講方法・単位認定試験までの必要手順やスケジュール・住所変更や休学などの各種申請手続きを始め、学習センターの利用方法・教務情報システム(システム WAKABA)・課外活動等についても記載されています。

「利用の手引」は、鳥取学習センターのご利用案内・スケジュールなどを掲載した、学生の皆様のための手帳です。事務室でお配りしております。まだお持ちでない方は、来所の際にお申し出ください。



「学生生活の栞」の電子化について（2026 年度以降）
2026 年度から「学生生活の栞」は冊子での配布が終了となり、電子形式（PDF）での提供となります。詳細については、システム WAKABA 等でご確認下さい。

学習相談について

各分野の専門的な内容や履修科目の選定（卒業研究を含む）に関すること、あるいは基礎学力をアップしたいなど、学修上の様々な問題は、客員教員の「**学習相談**」をご利用ください。相談する客員教員がわからないときは、事務室の「**何でも相談窓口**」にお申し出ください。また、毎週木曜日に所長と談話できる時間帯「**オフィスアワー**」を設けました。詳細については、鳥取学習センターウェブサイト (<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tottori/>) の、**【お知らせ】**をご覧ください。または、鳥取学習センターにご連絡ください。

新入生のための学び方ガイダンス

放送大学の学生になった皆さんに、今後の学習をスムーズに進めるために大切なこと、知っておいていただきたいことを紹介しています。

放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp/gakubu/about/guide/>) をご覧ください。

2025 年度 第 2 学期 通信指導・単位認定試験について

通信指導

参照『学生生活の栞』学部 P67～72、大学院 P72～77

通信指導とは、放送授業科目及び一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に 1 回前半の一定の範囲で出題されます。その問題の解答を提出し合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。

◇Web による提出

- ・通信指導問題は、システム WAKABA の「授業サポート→授業共有ファイル」で 10 月上旬から確認できます。問題冊子の送付はありません。自宅等からインターネットを通じて問題を閲覧し解答を提出してください。
- ・制限時間はありませんが、1 回目の解答提出が対象となります。
- ・提出前までに「Web 通信指導お試し版」の操作確認をしてください。

※Web による通信指導提出が困難な方は、『学生生活の栞』（学部 P68・大学院 P73～74）をご覧ください。

◇郵送による提出

- ・郵送提出科目は、10 月下旬に問題冊子が送付されます。同封の返信用封筒を用いて、郵送で解答を提出してください。届かない場合は、大学本部（☎043-276-5111（学生サポートセンター））に連絡してください。

- ・対象科目

学 部：「市民自治の知識と実践（'21）」「日本政治思想史（'21）」「文学批評への招待（'18）」
「日本美術史の近代とその外部（'18）」「空間と政治（'22）」

大学院：「現実と向き合う政治理論（'22）」

◇提出期間

実施方法	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web 提出	2025 年 11 月 6 日（木）10：00～11 月 26 日（水）17：00
郵送提出	2025 年 11 月 12 日（水）～11 月 26 日（水）《必着》 郵送提出科目・Web 通信指導による提出が困難な場合のみ



◇提出状況確認

- ・Web 提出：Web 通信指導のトップ画面において、科目一覧の各科目欄内に「提出済（送信済）」と表示されます。
- ・郵送提出：システム WAKABA 「教務情報→履修成績照会」
目安として 12 月 3 日ごろまでには「受理」と表示されます。

◇添削結果返送・公開時期

- ・2025 年 12 月末～2026 年 1 月上旬
以下の期限までに届かない場合、学生サポートセンター（☎043-276-5111）

択一式（併用式科目の択一部分）	2026 年 1 月 8 日
記述式科目（併用式科目の記述部分）	2026 年 1 月 14 日

◇合否結果

- ・添削結果と同時期に送付される「単位認定試験通知（受験票）」で通知されます。
- ・未提出または不合格の場合、単位認定試験を受験することができません。

単位認定試験

参照『学生生活の栞』学部 P72～82、大学院 P77～86

単位認定試験は、Web 受験方式にて実施します。(4 科目のみ郵送受験方式です。)

◇Web 受験方式

- ・システム WAKABA の学内リンクから「Web 単位認定試験」を押すことでアクセスできます。
- ・科目ごとに「択一式」・「記述式」・「択一式と記述式」の併用式のいずれかの形式で出題されます。各科目の出題形式は、「授業科目案内」に記載されています。
- ・インターネットを通じて、試験期間中、いつでも自宅等から受験することができます。
- ・1 科目 50 分の制限時間があり、各科目 1 回のみ受験可能です。

◇郵送受験方式

- ・郵送科目は「行政学講説（'24）」「正多面体と素数（'21）」「日本美術史の近代とその外部（'18）」「量子化学（'19）」の 4 科目のみです。

◇試験期間および実施方法

実施方法	出願形式	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web 試験	択一式科目	2026 年 1 月 18 日（日）9：00～1 月 26 日（月）17：00
	記述式・併用式科目	2026 年 1 月 18 日（日）9：00～1 月 22 日（木）17：00
郵送試験	すべての出題形式	2026 年 1 月 18 日（日）～1 月 22 日（木）《必着》

（詳細は、ウェブサイト「2025 年度単位認定試験についてのご案内」(<https://www.ouj.ac.jp/for-students/webshiken/2025/>) もご確認ください。(受験できるのは、履修科目（再試験含む）のうち、通信指導に合格した科目に限ります。)

◇自宅での Web 受験が困難な方へ 参照『学生生活の栞』学部 P73～74、大学院 P78～79

- ・自宅での Web 受験が困難な方は、学生生活の栞の巻末様式（学部・様式 15、大学院・様式 14）「単位認定試験受験場所変更願」を提出することで、学習センターでの受験が可能となります。詳細については、『学生生活の栞』をご覧ください。

◇Web 単位認定試験システムへのアクセス方法

- ・システム WAKABA の学内リンクから「Web 単位認定試験」を押すことでアクセスできます。

◇Web 単位認定試験体験版について

- ・Web 単位認定試験システム内に、Web 単位認定試験体験版が公開されています。まだ、体験版の操作を行っていない方は、試験期間までに、受験に使用する予定の端末から、体験版の操作を必ず行ってください。(操作ガイドは、Web 単位認定試験システム内に掲載されています。)

体験会について

- ・上記の体験版の操作体験を自宅で行うことが困難な方は、学習センターで操作体験会を開催しますので、ぜひご参加ください。また、パソコン操作が不安な方にもご参加いただけます。事前にご連絡をお願いします。

鳥取学習センターでの開催予定

2025 年 12 月 19 日（金）14：00～16：00

2026 年 1 月 9 日（金）14：00～16：00

◇受験票

- ・単位認定試験の受験資格は、1 2 月下旬にシステム WAKABA「教務情報→単位認定試験時間割照会（学生用）」で確認できます。あわせて「単位認定試験通知（受験票）」も送付されます。

◇成績通知

- ・試験結果は、2 月下旬にシステム WAKABA「キャンパスライフ→学内連絡」に掲載されます。あわせて「成績通知書」も送付されますが、疑義受付・成績異議受付締切を過ぎての到着となる可能性もありますので、システム WAKABA でご確認ください。

2025 年度第 2 学期 面接授業について

◇面接授業追加登録

科目登録決定後、空席のある科目については、「追加登録」手続きをすることで申し込むことができます。空席発表は、10月17日（金）15時です。詳細は、下記ウェブサイトをご覧ください。

◇自家用パソコン持ち込み方法（BYOD）について

パソコン持参で受講する面接授業は、原則としてご自身のパソコンで受講します。詳細は、下記ウェブサイトをご覧ください。

また、学習センター無線 LAN（Wi-Fi）に接続する場合、受講前日までに手続きを完了してください。

◇無線 LAN（Wi-Fi）について

無線 LAN 利用申請は、オンライン申請に変更となりました。

手続きの詳細は、下記ウェブサイトまたは「システム WAKABA＞各種届出・申請様式＞無線 LAN 利用申請（オンライン）について」で確認してください。



図書・視聴学習室からの知らせ

◇室内視聴用端末（Chromebook）について

ログイン ID（学生番号）とパスワードを入力するだけで、すべての放送授業が視聴できます。

◇放送教材（DVD・CD）について

郵送で大学本部からご自宅に取り寄せることができます。詳細については、「学生生活の葉」をご覧ください。

◇試験問題・回答について

過去1年分（2学期分）の試験問題・回答が閲覧できます。システム WAKABA にも試験問題・回答の公表について掲載しております。また、有償で郵送するサービスもありますが、申込期限があります。詳細については、「学生生活の葉」をご覧ください。

◇雑誌のバックナンバーについて

鳥取学習センターの図書室・視聴学習室に配架している雑誌で、2024 年発行までのバックナンバーを無償譲渡します。事務室窓口までお越しください。お一人5冊までで、取り置きはできません。

- ・譲渡期間：2025 年 10 月 22 日（水）～11 月 14 日（金）
- ・譲渡雑誌：NEWTON 文芸春秋 ナショナルグラフィック日本版 栄養と料理
経済セミナー Interface 臨床心理学

◇学生図書リクエストの受付について

本部図書館未所蔵のもので、勉学に役立つ図書のリクエストを行っております。図書の所蔵場所は、本部図書館です。申込時に、予約（学習センターで貸出を受ける）または、自宅配送を選ぶことができます。

- ・受付期間 2025年4月25日（金）～2025年12月25日（木）
- ・申込対象者 学部：全科履修生、選科履修生、
大学院：修士全科生、修士選科生、博士全科生
- ・申込方法 OPACから申し込み、または申込票（OPACよりダウンロード）を本部図書館または学習センターに提出
詳細については、<https://lib.ouj.ac.jp/serrvice.html> をご覧ください。



学友会・同窓会からのお知らせ

2025『放大まつり』を開催します。

日時：11月24日（月） 10：00～16：00

展示：11月24日（月）～11月28日

会場：鳥取学習センター

催し：

- ・所長講演・各種展示（写真・絵等）
- ・カフェ・昼食（パンの販売）
- ・古本市

募集：

- ・展示作品 ・古本市への出品物
- ・放大まつり開催のお手伝いをしていただける方
（学生・OBを問いません。当日のお手伝いだけでも可）

問合せ先：鳥取学習センター ☎0857-37-2351 Email newtottori@ouj.ac.jp



学友会主催「自主ゼミ」－誰でも参加できる勉強会－

学友会では、誰でも楽しく気軽に参加できる「自主ゼミ」を開催中です。鳥取学習センター所属学生が対象です。詳細は、同封のチラシをご覧ください。

日時：11月6日（木）15：00～16：30

会場：鳥取学習センター 講義室

申込先：鳥取学習センター ☎0857-37-2351 Email newtottori@ouj.ac.jp

聴講のみ
参加 OK

2025 度放送大学鳥取同窓会主催事業

「防災セミナー&ワークショップ」を開催します。

ご家庭にある防災グッズ（リュックなど）をお持ちください。

日時：11月23日（日）15：00～17：00

会場：鳥取市役所駅南庁舎 地下1F（鳥取市富安2-138）

対象者：学生・同窓生・一般（どなたでもご参加いただけます）

定員：先着30名

参加費：（当日）1人500円

申込先：鳥取学習センター ☎0857-37-2351 Email newtottori@ouj.ac.jp

詳細は、チラシ
をご覧ください

学友会・同窓会主催懇親会（忘年会）

在学生・同窓生であればどなたでもご参加いただけます。楽しく有意義な一時をお楽しみください。会場・会費等は現在調整中です。

決定後、鳥取学習センターウェブサイト・センター内掲示等でお知らせします。

日時：11月29日（土）18：30

会場：鳥取駅近・調整中

申込先：鳥取学習センター ☎0857-37-2351 Email newtottori@ouj.ac.jp

学生掲示板 学生サークル

書に親しむ会～心を落ち着けて「書」に向かうひとときを過ごしてみませんか～

講師 住川 英明 先生
放送大学鳥取学習センター客員教授
(日本書道史学、書写書道教育学)

日程 10/15 (水)、11/5 (水)、11/19 (水)

時間 13:30～15:00

場所 鳥取学習センター

鳥取学習センターに学ぶ学生のサークル活動の一環として、初めて筆をもたれる方から経験者まで、共に書に親しむことを通じ、相互の親睦と交流を図ることを目的に開催します。お気軽にご参加ください。



和風サークル「さつき」～着物をより身近に楽しむ会～

日程 10月お休み、11/16 (日)、12月お休み

時間 13:30～15:00

場所 鳥取学習センター

持ち物 着物、着付けの道具

申込 鳥取学習センター



毎月1回程度活動しています。

着物や和装に興味のある方のご参加をお待ちしています。季節ごとに様々なイベントも計画しています。見学大歓迎です♪ 着物や道具をお持ちでない方もお気軽にご参加ください。

熊原先生と楽しく数学を学ぼう！！

科目 数学(学習内容は熊原先生と受講生が相談のうえ決定します) 受講料は無料です！

講師 熊原 啓作 先生
放送大学名誉教授、鳥取大学名誉教授、
放送大学教養学部在籍

日程 10/25 (土)、11/8 (土) 11/15 (土)

時間 14:00～15:30

場所 鳥取学習センター

連絡先 ☎0857-37-2351 Email newtottori@ouj.ac.jp

心理学実験を受講したいけれど、統計学が難しそうだから受講を躊躇していらっしゃる方も多いのでは・・・まずは、統計学の初歩の初歩と一緒に学びませんか。先生曰く、「難しいと思われがちな数学ですが、段階をふみ一歩ずつ進めば案外わかりやすいことも多いです。一緒に学びましょう。試験は一切ありません。



職員異動のお知らせ

【退任職員】教務：山瀬いづみ

このたび、7月31日をもちまして退職させていただくこととなりました。在職中は多くの方に温かくお声をかけていただき、支えられながら日々を過ごすことができましたこと、心より感謝申し上げます。放送大学での経験をこれからの糧として大切にしていまいります。今後の皆さまのご健康とご活躍をお祈りし、退職のご挨拶とさせていただきます。

【新任職員】教務：山本未夏

8月1日より入職いたしました、山本未夏と申します。初めてのこと、慣れないことばかりでご迷惑をおかけいたしますが、皆様の学修のサポートができるよう日々努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

■学友会報告

令和7年度学生研修旅行

「地元、再発見！」

学友会会長（研修旅行担当） 清水道代

・開催日時 令和7年9月6日（土）

9：30～16：50

・訪問先 鳥取県立青谷かみじち史跡公園（鳥取市青谷町）、三朝バイオリン美術館（東伯郡三朝町）、波関園（東伯郡湯梨浜町）

・参加者 9名

■行程

9：15 鳥取駅南口バス待機所集合

9：30 ジャンボタクシー（貸切）で出発

10：00 青谷かみじち史跡公園 着

12：00 同上 出発

12：20 水明荘 着 昼食

13：40 三朝バイオリン美術館 着

14：25 同上 出発

14：40 波関園 着

15：30 同上 出発（帰路）

（途中、道の駅 西いなば気楽里で休憩）

16：50 鳥取駅南口 着、解散

■活動内容



【青谷かみじち史跡公園】

文化財専門員による、弥生時代（紀元前5世紀～紀元4世紀）にかけて海上交通の拠点として繁栄した当地域古代史の展示解説。



【青谷かみじち史跡公園】

当時、船や木器、木製容器、農具などに使用された樹木。樹種による用途の適性或樹木の加工方法について解説。

そのほか、漁具や狩猟の道具、農具、土器、祭祀の道具や管玉などの展示を見学。参加者は、解説を聞き、パネルやキャプションを読みながら当時の生活や技術の進歩、他地域との活発な交流について学習した。スケッチやメモを取る参加者もいた。



【青谷かみじち史跡公園】

「令和7年度第1期企画展弥生のものづくりー青谷上寺地の匠の技ー」見学の様子。展示では、現代の人間国宝が青谷上寺地遺跡から出土した木製品を復元したことなども紹介され、弥生人の技術やデザイン力がいかに優れていたかを知る機会になった。この後、施設公園で景観復元を見学。



【昼食の様子】

東郷池を一望できるレストランで昼食。参加者同士、親睦を深めた。



【三朝バイオリン美術館・外観】

日本で唯一の弦楽器美術館



【三朝バイオリン美術館】

バイオリンの歴史、制作工程、材料、修復などについて丁寧に解説をしていただいた。バイオリン職人のこだわり、集中力に脱帽。



【三朝バイオリン美術館・生演奏の様子】

「見上げてごらん夜の星を（坂本九）」、「ユーモレスク（ドヴォルザーク）」など3曲、アンコール1曲を披露していただいた。



【梨狩り@波関園】

青空の元、たわわに実った瑞々しい20世紀梨を堪能した。



【集合写真＆参加者の声】

「すべての訪問先が初めてで新鮮。再訪したい。」「近場を深堀できた。参加してよかった。」「バイオリン演奏が心に響いた。」「良い企画で、有意義だった。」「楽しい一日だった。」

若桜まち歩きと氷ノ山で 美味しいバーベキュー

～令和7年度夏の親睦行事～

広報・教務担当 上野 武彦

8月3日(日)鳥取学習センターの学生さん、渡邊所長ほか職員とともに、鳥取駅9時47分発の若桜鉄道の1両気動車に乗車し一路若桜駅へ。今年もこの列車はスズキの大型バイク「隼」がラッピングされた人気の車両。ラッピングは、スズキがスポンサー。途中駅の隼駅では、駅開業95周年を祝う団扇を持った地元の方々が車窓からお出迎え。休日で観光目的なのか、終着駅の若桜駅に到着するまでの途中駅で乗下車される方がかなりあり、単線各駅停車列車の中も賑やか。定刻の10時37分に若桜駅に到着。ここまでは昨年と同じです。今年は、ここで若桜町観



【「隼」ラッピング列車】



【まち歩きガイドの方と合流】

光協会のまち歩きガイドの方と合流して、お話を聞きながらまち歩きのスタート。地元のまちを、ガイドの方のお話を聞きながら歩くのは新鮮な体験。

まずは、国の登録有形文化財がたくさんある若桜駅でのお話。駅舎、プラットホーム、物置、番所、車庫、小学生でも動かせる手動の転車台、蒸気機関車に必要な水を供給するための給水塔、そして流雪用の溝まで文化財です。文化財ではないですが、圧縮空気で動か

す体験ができるピンク塗装の名残があるC12型蒸気機関車や、除雪につかうDE型ディーゼル機関車も人気です。

次に「蔵通り」に移動。とても細い通りですが、一方通行でもなく普通に車が通るそうです。名前のとおり蔵の裏側が連なっています。中には漆喰が落ちて下地の土壁が露出している蔵も。また通りの反対側には寺院が連なっており、蓮教寺のお堂の軒下で、若桜の家並について遠目で眺めながら説明を聞きました。明治の大火で全焼してから立て直された昔ながらの家が伝統的な町屋づくりで、通りに面した表側が2階建てでその次に平屋、通り土間と中庭、最も奥に蔵が配置されているとのこと。この時点では「町屋」と聞いて京都のそれを思い浮かべていましたが、後に予想をはるかに超えるものであることが分かりました。

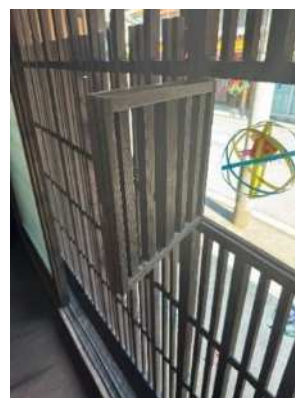
ここから路地を抜けて、若桜のまちの目抜き通りの「仮屋どおり」へ。建築当時のまま残っている家にはこの「仮屋」が家の前面に残っています。「仮屋」とは道路に面した前面に、1.2m幅の軒下私道を作って雨や雪の時に誰でも自由に通れるようにしたもので、現在のアーケードのようなものです。残念なことにこの「仮屋」が残る家は既に少なくなっています。飲食店になっている古民家の仮屋の床下につくられた水槽には、



【「仮屋」】

大きな鯉が飼われていました。昔は各家で食用に鯉を飼っていたそうです。今でも鯉料理を提供している飲食店が、町内に1軒あります。30℃を超える暑さの中、家の前の側溝を勢いよく流れる水はひんやりと冷たかったです。

この後、若桜民芸館になっている町屋づくりの古民家を見学しました。この町屋の規模と贅沢な作りにびっくり。仮屋に面した窓は木連格子(きづれこうし)づくりで、何故か内側に開く正方形の小さな扉が。これはお伊勢参りに向かう人たちに、施しのお金を入れた柄杓を差し出すためのものとのこと。そう言えば思い出したのはここは「若桜街道」(昔は「若桜往来」とも「八東往来」とも言われたらしい)。



【木連格子 (きづれこうし)】

その起点は、鳥取城のお堀にかかる大手橋で若桜までが若桜街道、その先戸倉峠を越える道は「播磨道」、氷ノ山越えは「但馬道」と呼ばれ、「但馬道」が伊勢参りに使われた道で、若桜街道の途中に「伊勢道」と書かれた道標が多くあるそうです。若桜民芸館でのお話が



【若桜民芸館の中庭】

裏付けられています。狭い通りを抜けて再び「蔵通り」の西方寺へ。若桜を代表する古刹で県の名勝に指定されている庭園がありますが、寺院の建物の裏側に配置されており、正面入り口側からはその存在に気づくこともありません。蔵通りを通って駅に戻る途中、赤ちゃんを抱いたお母さんに出会うとガイドの方、学生さんの皆が声掛け。若桜町での出生数は年間10人前後、人口が県内最少の自治体で人口減少と高齢化が進む中で、今後の町を担っていく貴重な人材は町全体で大切にされています。

さて、町観光協会前に戻るとバーベキューでお世話になる「ヒュッテ白樺」のマイクロバスが既に待機中。まち歩きガイドさんとはお別れし、バスで氷ノ山に登ります。若桜駅から11kmの距離ですが、若桜氷ノ山スキー場にあるため急な上り坂が続きます。

到着するとすぐにバーベキューはスタート。備長炭の火は既に赤々とおこっており、まち歩きで乾いた喉を潤すため各自が飲物を注文して、渡邊所長の乾杯の音頭で始まりました。厳選された素材のオンパレード。鹿ヒレ肉、鳥取和牛、地元特産の豚肉などなど。地元産米でにぎられた白おにぎりと一緒に美味しくいただきました。

参加された皆さんは、それぞれ充実した一日が過ごせたようです。

おそらく来年もこの行事は開催されます。学友会で企画しますが、現役の学生以外の方の参加もウエルカムですので是非とも参加をご検討ください。



【「ヒュッテ白樺」にて記念撮影】

公開講演会「なぜ 山陰に地震が多いか」を開催しました

ジオ部代表 清水道代

日時：9月27日（土）13：30～ 会場：鳥取学習センター講義室 参加者：30名

講師西田良平先生（放送大学元所長）によるジオ部講演会は、学生はもとより一般参加者も多く、山陰地域の地震発生メカニズムへの関心の高さがうかがわれました。

冒頭、日本海拡大および日本列島形成史の中で、日本列島の基盤（元になる大地）がユーラシア大陸の縁から大規模火山活動期と日本海拡大期を経て、プレート運動に伴い分裂するジオストーリーの紹介がありました。日本列島が形成される過程はとても長く複雑なため、地下には無数の断層があること、プレートが沈み込む際の圧力で歪みエネルギーが溜まるなど、地震を発生させる条件がそろっていることなどを学びました。中盤では、山陰地方で起きた地震、頻度や被害状況について紹介があり、改めて山陰地方は地震が多い地域だということを知りました。後半では、西日本と東日本の地震活動とその関連性について最新の知見と、21世紀を生きる我々が今後起こりうる地震にどう対応するかという課題が提示され、日ごろから地震を含めた災害への冷静かつ適切な行動を心がけることの重要性を再認識しました。参加者からは、多くの質問や感想がありました。

ジオ部、解散（お礼）

ジオ部は、2011年9月21日に設立しました。第1回は赤木先生の化石コレクション展で、赤木先生ご自身の展示解説を聞きました。会場は、鳥取産業会館（鳥取市本町）でした。当日は台風で、強風が吹き荒れていたことを憶えています。その後の活動は、おもしろ昆虫化石館見学、湯村温泉で温度差発電実験、鳥取砂丘での日食観察、赤波川溪谷の甌穴群観察、香美町探訪、倉吉探訪、岡山学習センター科学わくわくクラブとの合同フィールドワークなど、2023年まで年に2回程度の野外・室内活動、放たまつりでの発表を続けてきました。2016年第10回講演会「平成28年熊本地震と鳥取県及び周辺の地震活動（講師：西田良平先生）」は、講義室に一般市民を含む83名の聴講者が入場され、講演会の様子は地元新聞で報道、地元テレビでも放送されるなど大きな反響があり、学生、一般市民の方々とともに地震のメカニズム・防災・減災について考える好機になりました。このほか、山陰海岸ジオパーク国際会議でもポスター発表を行うなど、ジオパークエリアに所在する鳥取学習センターならではの特色を生かした活動は、多方面にも知られることとなりました。しかし、2020年4月、コロナ禍でセンターが閉所、その後、修学の仕組みも変化しました。サークル活動は自粛を余儀なくされ、コロナ後にはセンターを中心とした学生間のつながりが激減、そのため活動の継続、運営が難しい現状を抱えることとなり、20回の活動をもってジオ部を解散することを決断しました。活動開始から今日まで、歴代所長、事務室スタッフ、参加者の皆さまには多くのご支援をいただき、事故もなく、毎回楽しい活動をさせていただきました。皆さまに、心から感謝いたします。たくさんの思い出をありがとうございました。

★ 教務スケジュール表 ★

10月

11月

1月

3月



10/1

放送授業期間

1/14

冬季学習期間

3/31

放送授業



テキストが届きます



授業を視聴
・学習します



通信指導を提出します



引き続き、授業を
視聴・学習します



単位認定試験
を受験します



通信指導を
提出・合格しないと
単位認定試験を
受験できません。

通信指導提出期間

郵送 11/12～11/26

Web 11/ 6～11/26

単位認定試験

Web 記述・併用 1/18～1/22

択一 1/18～1/26

郵送(すべての形式) 1/18～1/22

※郵送は、通信指導・単位認定試験ともに必着。

※Web は、時間が異なります。ご注意ください。

10/3

オンライン授業

科目別に 1月上旬までに課題締切
その後、3/2 まで閲覧可能

3/2

全ての学習をインターネット上で行います。

インターネットで講義視聴、小テストやディスカッション、レポート等の課題を提出して学びを進めます。提出期限は科目ごとに決められています。成績評価は、これらの提出等、学習状況で判断しますので、通信指導及び単位認定試験は行いません(一部科目を除く)。

印刷教材はありません。その科目の授業内容をまとめた「講義ノート」、学びの参考となる「資料」はダウンロードすることができます。

がんばるぞ〜



11/1

ライブ Web 授業

1/10

Web 会議システム (Zoom) を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。ご自宅等でPC等を用いて受講します。決まった日時に授業を行うリアルタイム形式の授業で授業当日は、専用システムにログインし、各回の講義用 zoom へのリンクから仮想の講義室に入室します。このライブ Web 授業科目は、本学の正式な授業科目で、卒業要件上の「面接授業科目またはオンライン授業」の単位として扱われます。授業の取り組みやレポート等の評価の結果、合格した場合には所定の単位が付与されます。

放送大学 Web サイトのライブ Web 授業のご案内をご確認ください。

10/18

面接授業

1/25

空席発表・追加登録申請 (ライブ Web 授業も準じます)

申請先: 開設学習センター

空 席 発 表: 10/17(金)15 時
事前申請受付: 10/17(金)15 時～10/22(水)13 時 10 分
先着申請受付: (事前申請で満席とならなかった科目)
10/23(木)15 時以降

面接授業ウェブサイト
(第 2 学期) の「お知らせ」にて、全国の空席
状況を確認できます。



試験に合格すると、
単位を取得できます!



放送授業、オンライン授業、面接授業 (ライブ Web 授業を含む) の科目登録申請手続きです。

次学期に履修する

科目登録申請

■申請先: 本部

Web
2/13～2/28

郵送
2/13～2/27(必着)

2月下旬 成績通知

Web を利用した科目
登録は、放送大学学生
専用サイト「システム
WAKABA」から申請
してね。



オンライン授業
ライブ Web 授業



面接授業

今後のスケジュール

10月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	⑱ 面接	⑲ 面接
20	21	22	23	24	25 面接	26 面接
27	28	29	30	31		

- 10/4 ・大学院全本科生入学試験第1次選考
- 10/5 ・2025年度第1学期学位記授与式
- 10/5 ・2025年度第2学期入学者の集い
- 10/13 ・スポーツの日
- 10/17 ・面接授業科目追加登録事前申請受付開始

11月

月	火	水	木	金	土	日
					1 面接	2 面接
③	4	5 面接	6 面接	7	8 面接	9 面接
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	⑳
24	25	26	27	28	29 面接	30 面接

- 11/3 ・文化の日
- 11/6 ・通信指導提出開始 (Web～11/26 17時)
- 11/12 ・通信指導提出開始 (郵送～11/26 必着)
- 11/23 ・勤労感謝の日
- 11/24 ・放たまつり

12月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6 面接	7 面接
8	9	10	11	12	13 面接	14 面接
15	16	17	18	19	⑳ 面接	㉑ 面接
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 12/18 ・修士論文提出締切
- 12/27～1/3
- ・休み

1月

月	火	水	木	金	土	日
			①	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18 ★
19 ★	20 ★	21 ★	22 ★	23 ★	24 ★	25 ★
26 ★	27	28	29	30	31	

- 1/1 ・元旦
- 1/12 ・成人の日
- 1/18 ・単位認定試験開始
- 1/22 ・単位認定試験提出締切 (記述・併用：web～17時)
- 1/22 ・単位認定試験提出締切 (すべての形式：郵送必着)
- 1/26 ・単位認定試験提出締切 (択一：web～17時)

2月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	⑪	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
⑳	24	25	26	27	28	

- 2/11 ・建国記念の日
- 2/13 ・2026年度第1学期科目登録申請開始 (郵送～2/27 必着)
- 2/13 ・2026年度第1学期科目登録申請開始 (Web～2/28 24時)
- 2/23 ・天皇誕生日

3月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	⑳	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 3/20 ・春分の日
- 3/24 ・図書室・視聴学習室閉室 (～3/31)

鳥取学習センターの開所時間

期 間	曜 日	開 所 時 間
通 常	水～日	9:30～18:00
8月～9月・2月～3月	火～土	9:30～18:00
毎週月曜・火曜・祝日・年末年始	閉 所 日	

※単位認定試験中は、入所制限並びに開所時間に変更になります。
ご注意ください。

※12時～13時のお昼時間は、事務室及び図書室・視聴学習室を閉室します。

ぶりずむ 第198号 令和7年10月発行
編集・発行 放送大学 鳥取学習センター

〒680-0845鳥取市富安2-138-4
鳥取市役所駅南庁舎5階
TEL 0857(37)2351
FAX 0857(37)2352
Email newtottori@ouj.ac.jp

web <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tottori>



防災セミナー&ワークショップ

***ご家庭にある防災グッズ（リュックなど）をご持参ください**

日時 2025年11月23日（日）15時～17時

会場 鳥取市役所駅南庁舎 地下1階 鳥取市富安2-138



学生、同窓生に限らずどなたでも参加可能！
防災についてみんなで語り合しましょう



最近の災害事例は？



突然災害に見舞われたらどうする？



災害に備えて普段から準備しておくことは？



防災リュックはあるが点検が必要？



避難所での便利グッズは？



防災について地域で共有しておくことは？

先着30名様

参加費（当日）

1人500円

- **第1部：セミナー 「どうしよう？」を「こうしよう！」に
避難行動と備えのススメ**

講師 益田悠生 氏（鳥取市危機管理課主任、鳥取県自主防災活動アドバイザー）

- **第2部：ワークショップ お茶を飲みながらの雑談・工作・防災リュック点検**

参加をご希望の方は下記よりお申込みください

TEL 08 57 - 37 - 2351

（放送大学鳥取学習センター）